

池松英治

Hideharu Ikematsu

あなたの心構えが あなたの人生をつくる

九州龍谷短期大学 報恩講座より

九州龍谷短期大学の皆さん、本日はお集まりいただきありがとうございます。今回のテーマは「あなたの心構えがあなたの人生をつくる」です。この講演を通して、私が経験から学んだことをお話しし、それが皆さんの未来を切り拓くヒントとなれば嬉しいです。

心構えとは何か

まず、「心構え」とは一体何でしょうか。私たちは日々、多くのことを感じ、考え、行動していますが、その根底には「心構え」と呼ばれるものが影響を与えています。心構えとは、私たちが生活する環境や育った背景、周囲の影響を受けて無意識のうちに形成される「心の癖」のようなものです。例えば、困難な状況に直面したときに「これは無理だ」と諦める人もいれば、「なんとかして乗り越えよう」と挑戦する人もいます。この違いの背後には、それぞれの心構えがあるのです。

しかし、心構えは変えることができます。今の自分に満足していない人、もっと成長したいと願う人は、まず自分の心構えを見直してみてください。「私はこういう人間だから」と決めつけるのではなく、「こういう自分になりたい」と考えることが、未来を変える第一歩です。

夢を描く

その第一歩として、皆さんにぜひ実践していただきたい



のが「夢を描くこと」です。夢とは、私たちが目指すべき目標であり、進むべき道を照らす灯台のような存在です。「こんな仕事がしたい」「こんな人生を送りたい」という夢があれば、日々の行動に意味が生まれ、困難を乗り越える力が湧いてきます。

重要なのは、夢をできるだけ具体的に描くことです。その過程で、自分が本当に何を求めているのか、どんな人生を送りたいのかが見えてくるはずですよ。

リスクをとる勇氣

夢を描いたら、次に必要なのは「リスクをとる勇氣」です。何か新しいことに挑戦する際には、必ずと言っていいほど不安や恐怖が湧いてきます。ですが、リスクを避けてばかりでは成長も成功もありません。

私は過去に重要な決断をする際、何度もリスクを取る選択をしてきました。そのたびに「失敗したらどうしよう」という不安がありました。その不安に負けずに挑戦したことで、多くの経験を積むことができました。失敗を恐れずに一歩踏み出すことが、自分の未来を切り拓く鍵になるのです。

誰もが感じていました。

しかし、そこから変革が始まりました。私たちは「人が集まる園にする」という明確な夢を描きました。その夢を実現するためには、大きなリスクを伴う働き方改革に挑戦しなければなりません。最初は反対の声もありましたが、夢を信じて一歩ずつ進んでいく中で、多くの人が賛同し、協力してくれるようになりました。

その結果、ひよ子子ども園は人が集まる園として地域で愛される存在になり、園児は定員以上にお預かりし、先生は倍増しました。おかげさまで経営はV字回復し5年連続増収増益となりました。

NHKからは「働き方改革」の成功事例として特集を報道して頂き、多くの注目を集めています。この成功の背景には、「心構えを変えること」「夢を具体的に描くこと」「人を大切にすること」があったのです。

あなたの人生はあなたが決められる

最後に、皆さんに一番伝えたいメッセージがあります。それは、「あなたの人生はあなたが決められる」ということです。どんなに困難な状況にあっても、どんなに不利な環境に生まれても、自分の未来を変える力は自分自身の中にあります。重要なのは、心構えを変えること、夢を描くこと、行動する勇氣を持つことです。

私自身、過去に多くの挑戦を経験し、その中で学んだことは「人は変わることができる」という確信です。そして、皆さんにもその力があると信じています。どうか、自分自身を信じ、夢に向かって進んでください。たとえ小さな一歩でも、それがやがて大きな成果を生み出します。

本日の話が、少しでも皆さんの未来へのヒントとなり、勇氣を与えられたなら幸いです。どうか皆さん一人ひとりが、自分の可能性を信じ、素晴らしい人生を築いてください。私も心から応援しています。

ありがとうございました。

人との出会いの大切さ

次に大切なのは、「人との出会い」を重視することです。人生は決して一人では築けません。自分の考えや努力だけでは行き詰まることも多いでしょう。しかし、人との出会いが新しい視点を与えてくれたり、困難を乗り越える力を貸してくれたりすることがあります。

人との出会いは偶然に思えるかもしれませんが、実は意識的に広げていくことも可能です。例えば、興味のある分野のイベントに参加したり、普段関わらない人と積極的に話してみたりすることが、新しい可能性を生み出します。その中で得た縁は、あなたの人生において大切な財産となるでしょう。

ひよ子子ども園の再生物語

ここで、私が関わった「ひよ子子ども園」の実例をお話したいと思います。5年前、ひよ子子ども園は非常に厳しい状況にありました。園児も保育士も少なく、43年の歴史を持つ園舎は老朽化し、赤字経営でした。このままでは未来がないと



池松英治 (いけまつ ひではる)

令和元年より「社会福祉法人ガジュマル」理事及び「ひよ子子ども園かみみね」園長に就任。小学校から大学受験までの学習塾経営。現在も教室およびオンライン講座の指導に携わる。子どもたちの心と頭脳の発達そして教育カリキュラムに見識がある。